暮らしと自然と家族がつながる家

壮麗な山並みと清らかな小川、のどかな風景を臨む暮らし。
吹抜けが家族をいつでもゆるやかにつなぐ。

自然と家族がつながる

1階の居間上部に設けた吹抜けが家全体を一体の空間に成らしめる。1階に自然光を取り込む、薪ストーブの暖かい空気を全体に送る、だけでなく、どこにいても家族の存在を感じることができる。階段下に設けたのはお子さんがくぐって入る小さな遊び場、吹抜けに面して作られた共有スペースには読書や仕事のためのカウンターなど、コンパクトな空間に居場所を散りばめ、心地のいい距離感の中で自然と家族がつながる間取りとなっている。

暮らしと自然がつながる

1階の大きなフルオープンサッシを開けると、食堂からウッドデッキへ。壮麗な山並み、清らかな小川、大きな桜の木など四季折々の自然の風景や音を楽しむことができる。暮らしに自然を取り込むことで"ウチ"と"ソト"とのつながりを生み、心から寛ぐことができる。外観も母屋の佇まいと合わせた焼き板仕上げにするなど、山村の風景との調和を図っている。

設計について

住まい手の祖父が、地元の山の木で建てた離れ。思い出のある建物を受け継ぎ、丁寧に使い続けたいとの思いから改修での計画となった。

1階の居間・食堂は、元が土間収納だったため、階高が非常に低い状態であったが、吹抜けを設け連続した梁を露しにすることで空間のアクセントとする一方、山並みをバックに立つ一本の桜の木を臨む位置にフルオープンサッシを設け、視線の抜けとし圧迫感が出ないよう工夫した。吹抜けを介して居間と一体のスペースとなった2階の共有スペースは、屋根勾配なりの天井とし、隠れていた小屋梁を化粧としている。小屋梁には当時の大工による墨付けの跡が残っている。既存の柱・梁の魅せ方を現場で何度も検討し作られた空間は、県産の杉床材と化粧の構造材が、シンプルな内装の中に映える、改修でしか表現できない雰囲気のあるものとなった。

増築だけでなく減築も行い、2階の外壁ライン下に耐力壁を確保するなど耐震面も考慮。現場発泡ウレタンにより隙間なく行われた断熱工事、吹抜けを介して自然光を取り入れ、また冬場の熱源として薪ストーブを設置するなど、温熱環境の面でも格段に良くなり、安心して快適に暮らせる住宅となっている。

工事が完了しその後、住まい手より「新築も考えたが、祖父が建て暮らした建物を引き継いで、家族で暮らせることに喜びを感じる」とのお言葉を頂いた。

建築概要

構造：木造軸組工法2階建
建築面積：58.46 m²
延床面積：89.39 m²
外部仕上げ：
　屋根 ＝ 瓦葺き（既存）
　　一部 ガルバリウム鋼板
　外壁 ＝ 杉焼板
　　一部 無塗装サイディング＋リシン吹付
内装仕上げ：
　天井 ＝ 珪藻土クロス＋杉板張り
　壁 ＝ 珪藻土クロス
　床 ＝ 杉フローリング張り

KOTOS コトス | 株式会社 由良工務店

写真　中村写真工房　一部 自社撮影